

2020年度（R2）活動報告書

2021年4月

法人名 認定NPO法人ミニシティ・プラス

1. 事業活動方針

認定NPO法人となり最初の年となる2020年度でしたが、コロナウィルスの影響で、4月のミニヨコハマシティが開催中止となりました。他の活動も遅れてのスタートとなり、オンラインでのこども会議などを実施しながら、なんとか進めました。

「ミニヨコハマシティ」は、日本中のこどものまちが中止になるなか、事務所のある横浜市都筑区中川で毎月1回行われているマーケットの中でミニマムに実施しました。

また、都筑区とみなとみらいで展開する「ジュニア編集局」も、オンライン会議やオンライン取材も取り入れて活動を行うなど、感染対策に気を配りながら、地域の情報をこども目線で発信していく取材活動を行いました。

「特命子ども地域アクタープロジェクト」は、コロナ禍で派遣先がほぼなくなってしまい、大幅に活動が停滞してしまいました。全体として団体にとってはたいへん苦しい年となりました。

そんな中、2020年4月にはミニヨコ開催予定会場だった都筑区役所で団体の活動についてのパネル展示を行い、2021年2月には横浜市役所新市庁舎アトリウムにて、ハイブリットで「こどもメディアシンポジウム」を実施しました。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る活動

① こどもが創るまち「ミニシティプログラム」の研究、開発に関する事業

◆ ミニヨコハマシティ in 中川まちなかマーケット

毎月1回行われているマーケットの中で1~2店舗のみで運営。大人のお店でアルバイトをするとミニヨコブースで遊べるような仕組みで行いました。コロナ禍のため広報活動も控える中、地域のこどもたちが1回100名ほど参加しました。

内容) 年間を通してのこども会議、「ミニヨコハマシティ」イベント開催

実行期間) 2020年4月~2021年3月

場所) 事務所、オンライン会議、中川まちなかマーケット出店

受益対象者) ひとりで参加できる19才以下のこども延べ1000人程度

支出額) 731千円

② 「ミニシティプログラム」の普及・啓発に関する事業

◆ 緑区こどものまちづくりイベント「ミニミニドリPR事業」

緑区のこどものまち「ミニミニドリ」の運営サポート。今年度はオンラインでのこども会議の運営やイベントが中止になる中、来年に繋がるPR動画の作成を行いました。

内容) 緑区のこどものまち開催サポート

日時) 2020年6月~12月

場所) 横浜市緑区、オンライン

受益対象者) 横浜市緑区のこどもたち 500人

支出額) 1,710千円

◆ こども哲学倶楽部

内容) 生活クラブの冊子への寄稿

日時) 2020年4月25日、2021年11月1日

場所) 市内の会議室、オンライン等

受益対象者) 生活クラブ読者他

支出額) 65千円

③ 地域まちづくりの活性化を目指したイベントの企画・運営に関する事業

◆ ジュニア編集局

公募で集まったジュニア記者が、都筑区の魅力をこどもたちの目線でのまちを取材、ブログで発信し、新聞を発行しました。2月にはこどもメディアシンポジウムをハイブリットで行い、他地域の同様の活動をする方たちと交流しました。またオリンピックパラリンピックが延期となったため、今年もGOGBの取材を行い、その延長線上でみなとみらいバリアフリーマップの作成に参加、赤レンガ倉庫周辺で行いました。

ア：つづきジュニア編集局

内容) 取材、発信、新聞発行、こどもメディアシンポジウム2021 in YOKOHAMA等。

日時) 2020年4月～2021年3月

場所) 都筑区を中心とした横浜市内

受益対象者) ジュニア記者24人、新聞購読者約2万人

支出額) 817千円

イ：MMジュニア編集局

内容) 取材、発信、新聞発行、こどもメディアシンポジウム2021 in YOKOHAMA等。

日時) 2020年4月～2021年3月

場所) みなとみらいエリアを中心とした横浜市内

受益対象者) ジュニア記者9人、新聞購読者5千人

支出額) 738千円

※こどもメディアシンポジウムは視聴者約450となりました。

④ 地方自治体や地域活動団体、国際交流団体等公益団体との協働事業

特命子ども地域アクタープロジェクトまちづくりに積極的に関わろうとする青少年を「特命子ども地域アクター」として養成し、まちの活性化のため、現場へと派遣しました。今年はコロナ禍のため、2つの活動に留まりました。

ア：ミニ逗子シティ（こどものまち）のサポート

内容) ミニ逗子シティ（こどものまち）もコロナ禍でミニチュアのこどものまちを作成するプロジェクトに変化しました。それらをアクターがお手伝いしました。

日時) 2020年6月～2020年10月

場所) 2020年6月10日、7月26日、8月30日、9月13日、9月27日、10月11日

受益対象者) 逗子市のこども・青少年とそれを支える大人 20人

イ：千本桜商店会の活動サポート

内容) 千本桜商店会の活動サポートで、まちの歌作りのお手伝いを行いました。

日時) 2020年8月30日午後

場所) 大和市千本桜商店会(高座渋谷)

受益対象者) 千本桜商店会他まちの人達約60人

ウ：鶴見区的生活科・総合的な学習の時間研究会 夏季研修に参加

内容) 学校の先生たちへのこども参画に関する研修のこども講師

日時) 2020年8月21日午後

場所) 横浜市立市場小学校けやき分校

受益者) 横浜市の小学校教員 約30人

ア&イ&ウ 支出額) 769千円

(2) その他の事業 とくになし。